

平成30年度  
事業報告

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

大船渡市デイサービスセンター

## 平成 30 年度の事業を振り返って ～お茶飲み仲間 笑顔が集う第二の我が家～

現在、大船渡市デイサービスセンターは定員 30 名に、特例で東日本大震災被災者を対象に 3 名を加え、1 日 33 名で営業しています。

平成 30 年度の利用者数は延べ 11,176 名、1 日平均 30.6 名の利用で、前年度と比較して 1 日平均 1.8 名の大幅な減少となりました。その理由として、昨年 8 月以降、定員に満たない日が続いたこと、具体的には、ショートステイの利用や施設への入所、傷病による入院、体力低下によるサービス利用中止の増加などが挙げられます。また、本年 1 月、市内で猛威を振るったインフルエンザ流行の影響を受け、5 日間の営業休止を余儀なくされたことも利用者様が減少した理由の一つと考えられます。新規契約者は例年並みに 35 名ありましたが、ご本人の都合により利用に至らないケースもありました。

そうした中、当センターを利用された多くの皆様から、「一人で家にいるよりみんなと話ができてずっと楽しい」、「職員の皆さんがとてもよくお世話をしてくれる」、「何度でもここに来たい」などのご意見をいただきました。日々業務に当たる職員にとってはこの上ないお褒めの言葉であり、毎日の大きな励みになりました。

デイサービスセンターの大きな目的は、在宅高齢者の社会的孤立感の解消、一人ひとりが持つ身体機能の維持向上、また、利用者様、ご家族様の身体的、精神的負担の軽減であり、これらの実現に向け目標を掲げて努力を重ねてきました。

具体の目標の一つは、利用者様の安全確保であります。

有事に備え、災害時や非常時を想定した避難訓練を定例的に実施し、対応マニュアルを利用者様、職員ともに再確認しました。日頃の訓練は、防災意識の醸成にもつながるもので、今後とも継続して実施して参ります。

感染症の予防も重要な目標であります。

利用者様の体調をよく見極め早期の対応を講じましたが、残念ながら感染拡大を防ぐことができず、営業休止を招いたことは大きな反省でした。正しい知識を理解し、日々の清掃、消毒、温・湿度管理を徹底して、今後とも万全の予防対策に努めて参ります。

そのほか、居宅介護支援事業所など関係機関との連携による新規利用者の掘り起こし、利用者様ニーズの把握と迅速な対応、地域社会やボランティアの皆様との交流を通じた社会参加など、デイサービス施設としての目的を達成するよう、職員一丸となって努力した一年でした。

昨年 12 月、当法人事業所が天皇陛下から御下賜金を賜ったことは、私たち職員にとって大きな荣誉でありました。新年度においても、高齢者福祉のさらなる充実を願う山崎会長の思いを具現化するため、当センターが利用者様の「第二の我が家」となって楽しいひと時を過ごしていただけますよう、職員一同、ますます精進して参ります。

大船渡市デイサービスセンター

センター長 三浦勝朗

## 1 各係の業務実施状況

### (1) 総務相談係

平成 30 年度も利用定員 30 名のほか、東日本大震災以降続いている 3 名分の被災者利用受入れを実施した。平成 31 年 3 月末時点での利用登録者数は 163 名（うち被災者枠の利用者は 23 名）である。

平成 30 年度の稼働率は 102.1%（最大値 6 月 109.9%）となり、前年度の 107.8%より 5.7 ポイント少ない水準で推移した。1 月に利用者様、職員のインフルエンザ A 型感染拡大に伴う営業休止が 5 日間あり、また、利用中止者は 83 名（うち施設入所 15 名、亡くなった方 17 名）あった。新規利用者は 35 名だったが、契約後に亡くなったり、状態低下によりサービス利用中止となったケース、また、契約したにもかかわらず利用者様の都合によりサービス利用に至らなかったケース等があった。

苦情は数件あり、本部と連携しながら問題解決に努めた。また、苦情解決第三者委員会に報告するとともに、毎月・随時の職員会議においてこれらを検証し、再発防止、サービスの向上に努めた。

感染症予防も 1 年を通して実施し、マニュアルを基本として、うがい・手洗い・消毒を徹底した。特に、冬期間のインフルエンザの流行時には、送迎車・センター内の消毒など二重三重の予防活動を行ったが、インフルエンザ A 型のまん延により利用者様、職員合わせて患者が 28 名まで拡大し、平成 31 年 1 月 20 日より 24 日までの 5 日間、臨時休業の緊急措置をとって感染拡大の防止に努めた。

公用車の運行については、軽微な自損事故が数件発生した。運転業務に関わる職員・シルバー人材センターからの派遣職員には、安全な運行と事故発生時のスムーズな連携を指示、指導した。

今後も利用者様に「第二の我が家」としての場を提供するとともに、個別ケアの方針に則った独自の対応ができるよう、職員の介護力・接遇意識の底上げ、多職種連携の強化を図り、魅力あふれるサービスの提供に努めたい。

## 利用者の状況

### (1)月別利用状況

平成30年度 の年間利用者数は11,176名、1日平均 30.6名で稼働した。

(単位 : 名)

日/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	33	33	33	33	32	33	30	32	30	24	29	32
2	33	33	33	33	33	32	29	33	31	20	32	29
3	33	33	33	33	33	33	31	33	28	31	27	31
4	33	32	33	33	33	31	32	33	29	31	26	28
5	33	33	33	33	33	30	29	30	29	32	30	33
6	33	33	33	33	33	32	31	32	31	32	28	31
7	33	33	33	33	33	33	32	31	29	29	29	30
8	33	33	33	33	32	33	27	31	29	30	30	32
9	33	33	33	33	33	33	29	28	29	30	29	32
10	33	32	33	31	32	32	32	27	28	30	32	30
11	33	33	33	33	33	31	32	30	30	30	24	27
12	33	33	33	33	33	30	32	26	32	30	29	33
13	33	33	32	33	29	32	33	29	31	33	26	28
14	33	33	33	33	22	28	31	28	31	29	28	29
15	33	33	33	33	23	33	31	28	32	30	29	31
16	33	33	33	32	32	30	29	27	29	30	24	30
17	32	33	33	33	31	29	29	33	27	30	27	28
18	32	33	33	33	33	30	28	29	28	26	27	30
19	33	33	33	33	33	26	33	31	29	29	27	32
20	33	33	33	33	32	33	32	29	31	0	28	30
21	33	33	33	33	31	33	31	29	29	0	29	27
22	33	33	33	33	31	32	31	31	28	0	29	32
23	33	33	33	33	33	31	31	29	31	0	29	30
24	33	33	33	33	33	29	30	30	29	0	32	31
25	33	33	33	33	33	31	32	29	33	26	24	29
26	33	33	33	33	33	28	32	28	32	26	28	32
27	33	33	33	33	32	29	30	30	32	27	30	31
28	33	33	33	32	33	29	32	29	31	23	33	31
29	33	33	33	33	32	29	32	27	32	30		28
30	33	32	33	33	33	33	31	32	28	28		30
31		33		33	30		31		29	26		30
合計	988	1,020	989	1,019	982	928	955	894	927	742	795	937
1日平均	32.9	32.9	33.0	32.9	31.7	30.9	30.8	29.8	29.9	23.9	28.4	30.2
平成30年度稼働率	109.8%	109.7%	109.9%	109.6%	105.6%	103.1%	102.7%	99.3%	99.7%	79.8%	94.6%	100.8%
前年度稼働率	108.4%	108.2%	109.6%	109.6%	109.1%	106.0%	106.2%	109.8%	109.3%	105.1%	107.9%	105.1%

平成30年度年間稼働率	102.1%
前年度年間稼働率	107.8%

(2)登録者年齢構成

平成31年3月31日現在(単位:名)

年齢区分	男	女	計
64歳以下	0	0	0
65～74歳	1	2	3
75～79歳	1	5	6
80～84歳	13	12	25
85～89歳	10	44	54
90～94歳	11	43	54
95～99歳	1	18	19
100歳以上	0	2	2
合計(名)	37	126	163

(3)利用者介護度登録状況 ※総合事業対象者含む

平成31年3月31日現在(単位:名)

区分	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
男	0	0	0	11	7	9	8	2	0	37
女	2	4	16	31	24	21	21	7	0	126
合計(名)	2	4	16	42	31	30	29	9	0	163
前年度	0	4	21	36	39	24	19	5	3	151

平均介護度 1.9

## (4)新規利用受入れ状況

(単位: 名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
新規利用受け入れ	3	3	0	0	1	3	6	4	4	3	1	7	35

## (5)利用中止状況

(単位: 名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
死亡	2	1	1	0	0	3	1	2	2	2	3	0	17
施設入所	0	0	2	1	0	3	0	5	2	0	0	2	15
体調不良(入院・通所不可能)	4	5	1	3	6	3	7	7	4	4	0	4	48
他事業所への変更	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	6	4	4	6	9	10	14	8	6	3	6	83

## (6)個別機能訓練実施状況

(単位: 名)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
足踏み	人 数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
	延回数	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	6
起 立	人 数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
	延回数	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	7
平行棒歩行訓練	人 数	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	7
	延回数	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
杖歩行訓練	人 数	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	延回数	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
歩行器	人 数	4	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	11
	延回数	3	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	11
関節可動域訓練	人 数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
	延回数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
歩 行	人 数	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	延回数	3	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	10
発音練習	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実人数合計		10	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	25
延べ回数合計		10	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	45

## (2) 介護係

利用者様個々の通所介護計画を基本にサービスを提供し、利用者様に活気のある生活を送っていただくための一助となるよう日々活動を展開した。また、デイサービスセンターに通所することで、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、利用者様ご家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることに努めた。

入浴では、清潔・リフレッシュ・安全を常に念頭に置き、快適な入浴を提供することができた。また、身体状況に合わせ、特殊浴槽を使用して安心安全な入浴を心掛けた。

デイサービスを利用する楽しみの一つである食事は、給食委託業者の協力と連携で、選択食・行事食・寿司バイキングなど、四季を感じていただけるようなバラエティーに富んだメニューを提供した。また、利用者それぞれの身体状況に合わせた食事形態や栄養バランスのとれたメニューを提供することができた。

レクリエーション活動では、可能な限り利用者様の要望を取り入れ、バスハイク・外食等、外出の機会を多く企画実施した。また、毎月実施している誕生会は、利用者様が年に一度自分が主役となるもので、歌や踊りで大いに盛り上がり、たいへん喜ばれた。

毎日のアクティビティでは、口腔機能向上訓練や軽体操を実施し、日々メニューを変えながら身体機能低下の予防、啓発に努めることができた。

平成 30 年 10 月 1 日、大型台風 24 号接近に伴う大雨等の影響により、利用者様の安全を考慮して、送迎時間を 1 時間遅らせて対応した。今後も不測の事態に備え、万全の体制、準備で臨みたいと考えている。

新年度も、このデイサービスセンターが利用者様にとって穏やかに過ごせる憩いの場となるよう「集えばきょうからお知り合い みんなで広げる“話”と“和”と“輪”」をテーマに、職員一丸となって心に寄り添う介護に努めたい。

## 日常活動実施状況

月	活 動 内 容		
4	レク体操 おやつ作り(たこ焼き) お花見バスハイク	口腔機能向上体操 誕生会・選択食 室内ゲーム(輪投げ)	利用者懇談会・お茶会 寿司バイキング
5	レク体操 外食 藤棚バスハイク	口腔機能向上体操 室内ゲーム(ゲートボール) カラオケ会	誕生会・選択食 外気浴・散歩
6	レク体操 おやつ作り(なべ焼き) 誕生会・選択食	口腔機能向上体操 室内ゲーム(輪投げ) 七夕短冊作り	利用者懇談会・お茶会
7	レク体操 おやつ作り(白玉あんみつ) 七夕飾り作り	口腔機能向上体操 誕生会・選択食 室内ゲーム(物送り)	利用者懇談会・お茶会 消防訓練
8	レク体操 室内ゲーム(物送り) 七夕飾り作り	口腔機能向上体操 誕生会・選択食 スイカ割り	利用者懇談会・お茶会 おやつ作り(カキ氷)
9	レク体操 敬老と健康を祝う会・誕生会 ハロウィン工作	口腔機能向上体操 室内ゲーム(風船バレー) おやつ作り(たこ焼き)	利用者懇談会・お茶会 寺町一座チンドン交流会
10	レク体操 誕生会・選択食 おやつ作り(なべ焼き)	口腔機能向上体操 室内ゲーム(輪投げ) りんご狩りバスハイク	利用者懇談会・お茶会 消防訓練
11	レク体操 文化祭作品作り カレンダー作り	口腔機能向上体操 ふじ林檎狩りバスハイク 誕生会・寿司バイキング	利用者懇談会・お茶会 山崎会長杯大輪投げ大会
12	レク体操 クリスマス装飾作り クリスマス・忘年会・誕生会	口腔機能向上体操 餅つき会 年末カラオケ会	利用者懇談会・お茶会 おやつ作り(たこ焼き)
1	レク体操 おやつ作り(お汁粉) 誕生会	口腔機能向上体操 水木団子作り 書き初め	利用者懇談会・お茶会 初詣バスハイク 室内ゲーム(風船バレー)
2	レク体操 節分豆まき おやつ作り(なべ焼き)	口腔機能向上体操 誕生会・選択食 室内ゲーム(鬼福ボーリング)	利用者懇談会・お茶会
3	レク体操 カラオケ会 雛祭り振袖写真撮影会	口腔機能向上体操 室内ゲーム(風船バレー) おやつ作り(桜餅・ホットケーキ)	利用者懇談会・お茶会 誕生会・選択食

### (3) 看護係

冬期間、特にインフルエンザの流行期は、利用者間の感染を防ぐため、うがい、手洗いはもちろん、施設内や送迎車両内の消毒、清掃、温湿度管理など、二重三重の予防策を講じている。しかし、今冬、市内でインフルエンザが大流行し、当センターでも利用者様及び職員にり患者が増大したため、さらなる感染拡大を防ぐ目的から、連続5日間、営業を休止する事態となった。

利用者の皆様には、流行の前段階から感染予防について注意喚起し、また、送迎時及びセンター到着時のバイタルチェックを強化して早期の症状発見に努めたものの、1月中旬、18名の利用者様が、また同時期、10名の職員がインフルエンザA型にり患した。

センター内でまん延を100%食い止めることには限度があるとしても、今回のケースを十分に反省、検証し、今後の流行期に向けて予防策を考えていきたい。

平成30年度は、センター内での「ヒヤリハットゼロ」を目標に掲げ、職員全員で取り組んだが、結果として数件の事案が発生した。そのほとんどは利用者様の尻もちだった。幸い大事に至るケースはなかったが、高齢者にとってちょっとした転倒が骨折などの重大な事故になりかねない。ヒヤリハットの事案が発生した都度、職員間で情報共有し今後の対応を再確認したが、今後も職員個々が連携して日々の介助に当たりたい。

利用者様の健康管理にも注意深く対応した。日ごろから利用者様一人ひとりの顔色や体調、食事の様子をよく観察し、大きな変化や異常が見受けられた場合は、直ちにご家族や担当するケアマネージャーに連絡をとって、早めの帰宅や病院送致の対応をとった。

その他、歩行訓練や機器を使った軽運動など、利用者様の個別の計画に基づいた身体機能訓練を実施し、ニーズに合わせて身体機能の維持、向上に努めた。

利用者の皆様が、安心安全、元気に、そして楽しくデイサービスセンターをご利用いただくため、職員全員が目配り、気配りを怠らないで利用者様に接することが重要と考える。今後とも、職員間で情報共有を図るとともに、定例の勉強会を実施し、専門知識、技術の習得を心掛けたい。

## 2 職員研修実施状況

(施設内研修)

年月日	研修内容
平成30年4月	ペースメーカーについて
5月	麻疹について
6月	食中毒予防について
7月	床ずれのケアについて
8月	そけいヘルニアについて
9月	経管栄養について
10月	高血圧の診断基準と測り方について
11月	感染症対策について
12月	肺血腫について
平成31年1月	インフルエンザの予防について
2月	ノロウイルス感染症対策について
3月	口腔ケアについて

(外部研修)

年月日	研修名	参加者職・氏名	場所
平成30年6月10日	2018年第1回日本じよくそう学会公認東北地方会教育セミナー	看護師 鈴木浩子	いわて県民情報交流センター
9月29日	平成30年度マッチング支援事業小規模介護事業所合同研修会	介護員 坂本カヨ子	大船渡魚市場
12月4日	老人デイサービスセンター部会研修会	相談員 山岸勇紀	メトロポリタン盛岡本館
平成31年1月11日	平成30年度気仙地区難病患者支援者研修会	相談員 山岸勇紀	大船渡地区合同庁舎
3月8日	平成30年度介護保険施設等集団指導	センター長 三浦勝朗	大船渡地区合同庁舎

# 大船渡市デイサービスセンター 1年間の様子

4月



プランター作り



盛町五年祭見物



5月



藤棚見学



すしランド外食会



6月



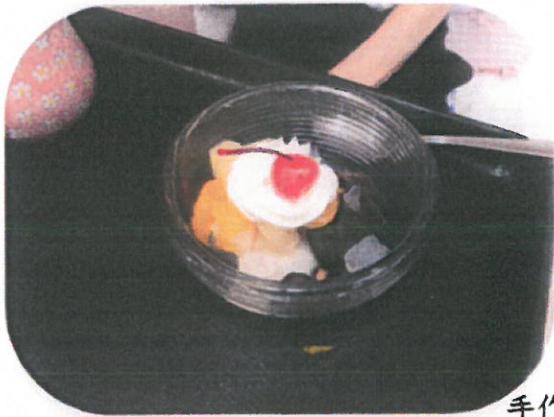
誕生会



七夕飾り作り



7月



手作りおやつ(白玉あんみつ)



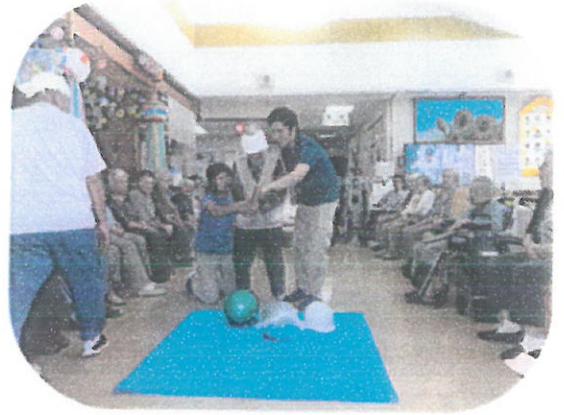
ちんどん屋さん来所



8月



すいか割り



洗足学園弦楽合奏部ミニライブ



9月



敬老会

# 10月



ベリーダンスチーム来所



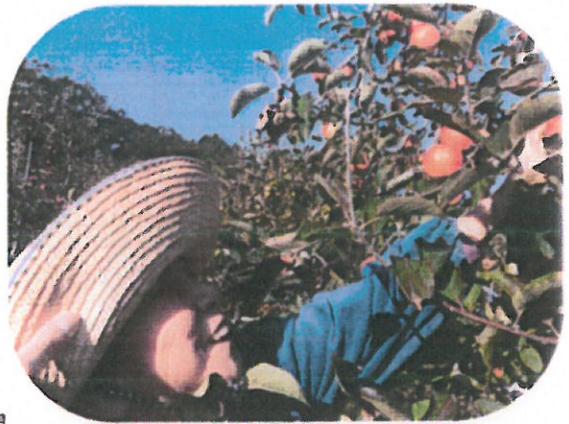
大船渡一中生職場体験



# 11月



りんご農園訪問



山崎杯大輪投げ大会



12月



餅つき



大沢桃子さん来所



1月



初詣



書初め



## 2月



豆まき



手作りおやつ(なべ焼き)



## 3月



ひな祭り撮影会



室内ゲーム(風船バレー)

